

ゲンバイトンボ

Platycnemis foliacea sasakii Asahina, 1949

モノサシトンボ科

熊本県カテゴリー
絶滅危惧 A 類 (C R)
環境省カテゴリー
準絶滅危惧 (N T)

選定理由 全国局限、県内局限、近年減少、その他（希少）

生息環境 ツルヨシが生育する清流の中流域

生息状況 現在生息が確認されているのは県北地域（阿蘇地方）だけである。高森町の生息地は湧水の池であったが、管理がなされず、生息環境が消失した。阿蘇市（旧一の宮町）の池では水生植物の消失で、現在確認されていない。ハビタットがある中原川水系でも平成 24 年の大水害で、河川に土砂が堆積した。その後の河川改修の時に生息地のツルヨシの群落も重機によって剥ぎ取られ、生息環境が減少した。



撮影：寺崎昭典

生存への脅威 河川改修、水質汚濁、自然災害、自然遷移、土砂流入、農薬

特記事項 中原川水系の支流でも、個体数が激減している。多様性条例（指定希少野生動植物）。

「レッドデータブックくまもと 2019」より抜粋
(県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>)